

言朝房領所也、依二品御鬱胸、日者籠居之間、地頭佐々木左衛門尉定綱、忽緒領家所務云云、  
〔榎戸文書〕伏見殿御領目録

御領目録人給付之  
○中略

一、近江鹽津莊同今西莊兩莊年貫三百五  
庭田大納言御恩千疋今四分 冷泉三位八百疋故正永御訪

田向三位五百疋鹽津分  
○中略

永享十二年八月二十八日 當知行分記之

後崇光院 御判

〔近江國輿地志略九十一〕餘湖莊伊香郡 中河内、椿坂、大谷、片岡、郷十二村、丹生郷九村、以上二十四村をいふ、

〔江北記〕文明二年庚寅當國初亂之事

一、長享三年に、南より光祿御出張候於北郡、致御方人衆事、上坂治部、淺見、磯野、彈正忠、彼等三人、本  
人成候、環山寺殿、祇園より餘吳莊へ御取退候、

〔朽木古文書〕近江國高島本莊安元名内古天神西南寄貳段者、任手繼讓狀旨不可有御知行相違候、  
任先例所當御公事以下可被致御沙江候、仍執達如件、

建武元年四月五日

龜若殿

行忠 花押

〔近江國輿地志略九十三〕饗場莊高島郡 相傳いにしへ木津莊と號す、後今名にあらたむといふ、賴朝卿  
の近臣饗場三郎尊氏の愛童饗庭命みやうつる鶴丸この地を領すといふ、今市村、辻澤村、米井村、五十川村、岡  
村、上野村、日爪村、森村、山形村、霜降村、針江村、小池村、深溝村、田井村、木津村、以上十五村をいふ、ある